

コミュニティ・スクールは、一人一人の子どもが幸せな人生を歩んでいけるよう社会総がかりで子供を育む取り組みです。



東桂CS通信



Nb1

令和6年7月30日

都留市立東桂小中学校

東桂小校長 清水 浩喜

東桂中校長 三枝 幸一

東桂小学校・東桂中学校のコミュニティ・スクールが動き始めました！

コミュニティ・スクール(略してCS)をご存じですか？コミュニティ・スクールとは、学校・保護者・地域住民で構成する「学校運営協議会」を設置した学校のことで、「**地域とともにある学校づくり**」の実現に向け、学校目標やそれぞれの課題、地域資源等を共有し合い、学校・地域が一体となって、特色ある学校づくりや子供の学びや成長を支えていく仕組みです。「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(第47条の5)が平成16年の改正によって制度化され、令和5年5月時点で全国の小・中・義務教育学校の58.3%が導入に至っています。

なぜ、いま、「コミュニティ・スクール」なのか？

近年、学校や地域が抱えている課題は複雑かつ多岐にわたっており、学校だけ、地域だけで解決することが難しくなっています。そのため、学校と地域がともに課題を認識し、連携・協働を図りながら教育活動を展開していく必要があります。コミュニティ・スクールは、そうして、学校と地域で共通の目標や目的を持ち、未来を担う子供たちの豊かな成長を確保するとともに、社会総がかりでの教育の実現を目指すために活用すべきシステムです。

コミュニティ・スクールによる地域学校協働活動に、どんな良さがあるの？

設置校の地域の声を聞くと、「『最近の子供たちは』と否定的に思っていたが、『子供たち、そして先生たちって頑張っている』と思うようになった。」「次に何を話そうか勉強をするようになった。」など、学校や子供たち、協働活動に対し、共感の声が寄せられています。

東桂地域は、地域と学校のつながりを大切にしながら、子供たちを見守ってきた文化のある地域です。これまでに耕してきた、“子供を中心に置いた地域と学校の絆”を土壌に、より多くの方々との連携を実現したい、そして、東桂愛に溢れた、子供・若者が活躍する地域の未来を育んでいきたいと思っています。



第1回学校運営協議会設置推進委員会、開催決定！

日時：令和6年8月9日（金）

18:00～19:30

場所：東桂地域コミュニティセンター

対象：地域開放型のため参加自由

主な内容：

- ①設置推進委員 委嘱式
- ②CSの説明
- ③熟議 ほか

ぜひ、
お越し
ください！

東桂CS設立に向けた活動記録①

CS学習会

令和6年6月26日には、東桂小中合同による学習会を開催。山梨大学の日永龍彦教授をお迎えし、『東桂地区におけるコミュニティ・スクールの可能性』に関してお話いただきました。多くの東桂地区の方々や、保護者、教員が集まり、“地域とともにある学校づくり”に向け、コミュニティ・スクールについて正しく理解し、今後の広く深い連携につなげられるよう、また、教育の未来や学校の未来を、ともに考える機会となりました。

地域の方々の感想

「地域全体で子育てしていけたら本当にいいことだと思います、できることから何か始めたいと思いました。」「こちらに来るまではこの講演は何だろう？と思っていたのですが、いろいろなことがわかりました。この地域ならではの特性を生かし、幼保小中の連携がうまくつながればいいなと願います。地域の保護者としてサポートしていきたいです。」「子供たちが地域の大人のことを信頼できるまちづくりが、できたらいいなと思いました。」

教職員の感想

「子供が地域との関わりを深めていくためにも、まずは私たち教職員が地域に対して理解を深めていくべきだと思います。」「東桂の強みを生かし、積極的に地域と協働した学びを展開していきたい。」「学校・保護者・地域が一体となって協力することで東桂の子供たちが伸び伸びと育ってほしいと思いました。」「自分の子どもが育成会で地域に育てていただいたことを思い出しました。」「学校の壁というか垣根を低くして、シニアの方々の知恵や経験が生かされたいと思う。」

東桂CS設立に向けた活動記録②

先進地視察

令和6年7月8日、長野県大町市立美麻小中学校にて先進地視察研修を実施しました。参加者は、東桂小中の評議員、放課後子ども教室コーディネーター、学童支援員、PTA関係者、保育園園長、両校校長等の教員、教育委員会の総勢17名。大町市は人口約2万5,500人の小規模自治体であり、学校が所在する美麻地区は住民の約半数が移住者という山間に位置する小さな町。美麻小中学校は、児童数98名の義務教育学校で、CSは11年目。地域の方々によるボランティア「スクールパートナーズ」制度を運用し、校内には地域の方々が自由に入力できる「コミュニティ・ルーム」が設置されているため、日々気軽な関わり合いが生まれる、地域と学校がつながる拠点となっています。また、“社会力を高める総合学習”をはじめとする様々な教育活動で地域の方々が活躍されています。少人数の学校ながらも「個別最適な学び」と「協働的な学び」が一体的に運用がなされ、児童生徒の主体性を伸ばす授業が行われていました。そんな学校と地域をつなぐキーマンである前川コーディネーターは、成果をこう語ります。「子供の学びを通じて大人が学んだ。」「社会に開かれた教育課程とは何か」を実体験から理解してもらっている。」「結果、まちづくりに繋がった。」 参加した委員の方々は、帰りのバスの中で、「都留市には人や場所、様々な資源がある。学校教育とどうつなげていけるか。」「東桂独自のものを。」「10年、20年、100年後の、子どもたちと地域のために。」「じっくりと作っていきたい」といった声が挙がりました。この視察を我々の良き学びのプロセスとし、設置推進委員会を立ち上げ、熟議を行っていきます。

問い合わせ先

●都留市立東桂小学校 0554-43-2466 校長 清水 浩喜

●都留市立東桂中学校 0554-43-2421 校長 三枝 幸一

